



## 平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアクリエイト

コード番号 2451 URL <http://www.m-create.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 博彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 栗原 浩一

TEL 055-929-8560

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第1四半期の業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	908	1.3	8	—	5	—	0	—
23年5月期第1四半期	896	△6.5	△63	—	△66	—	△65	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	0.04	—
23年5月期第1四半期	△12.78	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	2,628	763	29.1
23年5月期	2,624	763	29.1

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 763百万円 23年5月期 763百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,755	△0.9	20	—	15	—	0	—	0.00
通期	3,500	△0.5	50	—	40	—	10	—	1.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期1Q	5,153,700 株	23年5月期	5,153,700 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年5月期1Q	5,098 株	23年5月期	5,098 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期1Q	5,148,602 株	23年5月期1Q	5,150,402 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災とそれに伴う電力不足などにより生産活動は著しく低下したものの、サプライチェーンの復旧に伴い回復傾向にあります。反面、急激な円高や電力供給不足の長期化等の不安定材料も多く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような経済情勢の中、当社は、引き続き「お客様第一主義」「重点主義」「事業構造の変革」を基本方針とし、店舗における「快適な時間と空間」を提供することに注力するとともに、各種改装、設備投資に伴う準備を進めてまいりました。

なお当社は、店舗における不特定多数の方を対象としたサービス業の単一セグメントであるため、当第1四半期累計期間における事業別の業績を記載いたします。

事業部門		販売高(千円)	前年同期比(%)
マルチメディア カフェ事業	直営事業	627,315	109.1
	フランチャイズ事業	11,778	76.9
	小計	639,094	108.3
カラオケ事業		221,508	102.7
その他事業		47,510	52.7
合計		908,114	101.3

## ①マルチメディアカフェ事業

マルチメディアカフェ事業は、直営事業及びフランチャイズ事業の合計で売上高は639百万円（前年同期比108.3%）となりました。

## (直営事業)

マルチメディアカフェ直営事業は、「お客様のリクエストにお応えできる充実したサービスの提供」と「明るく開放感があり競争力のある店舗」を目指し、接客力の向上、清掃強化といったサービスの基本教育を継続し、合わせて各種営業施策を実施してまいりました。設備投資に関しましては、既存店ブース改装6店舗、分煙改装7店舗をはじめ、ハイスペックパソコン、大型W型液晶TV、通信型ダーツなどの導入を積極的に推進し、店舗環境の充実に努めてまいりました。店舗数につきましては当第1四半期累計期間に変動はなく前事業年度末と同数の35店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は627百万円（前年同期比109.1%）となりました。

## (フランチャイズ事業)

マルチメディアカフェフランチャイズ事業は、日々の営業活動から生じるロイヤルティ収入及び備品販売を売上高に計上しております。店舗数につきましては、当第1四半期累計期間において変動はなく前事業年度末と同数の12店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は11百万円（前年同期比76.9%）となりました。

## ②カラオケ事業

カラオケ事業は、一部の地域で競争環境は厳しさを増しているものの、接客レベルを上げるQSC教育を継続してまいりました。設備投資に関しましては、最新機種 of 通信型カラオケ機器を全社で積極的に推進し、提供サービスの向上を図ってまいりました。店舗数につきましては当第1四半期累計期間に変動はなく前事業年度末と同数の14店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は221百万円（前年同期比102.7%）となりました。

## ③その他事業

その他の事業として短時間で高品質なサービスを低料金で提供する美容室「イレブン・カット」を株式会社エム・ワイ・ケーとエリアフランチャイズ契約を締結し、愛知県・静岡県内に合計6店舗運営しており、引き続き認知度を高める施策を講じてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は47百万円（前年同期比52.7%）となりました。なお、前事業年度第2四半期末日にTSUTAYA店舗を譲渡しておりますので、イレブン・カット事業のみの売上高の前年同期比は104.6%となります。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は908百万円（前年同期比101.3%）となりました。

また、全社的な経費の見直しにより、売上原価は820百万円（前年同期比95.8%）、販売費及び一般管理費は78百万円（前年同期比76.3%）となりました。なお、TSUTAYA店舗を除く販売費及び一般管理費の前年同月比は96.3%となります。

その結果、営業利益は8百万円（前第1四半期累計期間は営業損失63百万円）、経常利益は5百万円（前第1四半期累計期間は経常損失66百万円）となりました。また、繰延税金資産の変動により、四半期純利益は0百万円（前第1四半期累計期間は四半期純損失65百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より4百万円増加した2,628百万円となりました。これは主に、積極的な設備投資により、リース資産が12百万円増加していることによるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より4百万円増加した1,864百万円となりました。積極的な設備投資に伴い、借入金及びリース債務が25百万円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純利益0百万円の計上はありましたが、前事業年度末とほぼ同額の763百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気の低迷は続くことが予想され、個人消費の回復は長期化するものと考えます。このような経済環境の中、当社はこれまでの方針を継続し、全事業で経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいります。

以上の状況から通期の業績見通しにつきましては、売上高3,500百万円、営業利益50百万円、経常利益40百万円、当期純利益10百万円を見込んでおり、現時点では変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	278,234	284,732
売掛金	4,716	5,419
原材料及び貯蔵品	32,592	33,438
その他	109,556	107,819
貸倒引当金	△366	△397
流動資産合計	424,733	431,013
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,026,514	1,011,945
土地	302,326	302,326
リース資産（純額）	353,646	366,023
その他（純額）	106,233	101,899
有形固定資産合計	1,788,721	1,782,194
無形固定資産	6,589	6,130
投資その他の資産		
敷金及び保証金	377,924	382,477
その他	21,583	23,009
投資その他の資産合計	399,508	405,486
固定資産合計	2,194,819	2,193,811
繰延資産	4,586	4,074
資産合計	2,624,139	2,628,899

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	34,329	47,028
1年内返済予定の長期借入金	339,908	359,900
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
リース債務	152,506	161,098
未払金	159,434	162,436
未払法人税等	12,695	4,554
その他	32,991	34,833
流動負債合計	821,865	859,851
固定負債		
社債	130,000	100,000
長期借入金	587,318	579,017
リース債務	231,016	235,958
退職給付引当金	27,878	28,413
負ののれん	2,709	2,167
その他	59,660	59,570
固定負債合計	1,038,583	1,005,127
負債合計	1,860,448	1,864,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,215	429,215
資本剰余金	380,401	335,167
利益剰余金	△45,233	182
自己株式	△691	△691
株主資本合計	763,691	763,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	47
評価・換算差額等合計	—	47
純資産合計	763,691	763,921
負債純資産合計	2,624,139	2,628,899



## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	896,147	908,114
売上原価	856,091	820,342
売上総利益	40,056	87,772
販売費及び一般管理費	103,216	78,787
営業利益又は営業損失(△)	△63,160	8,984
営業外収益		
設備賃貸料	10,277	11,750
受取手数料	2,080	1,483
負ののれん償却額	541	541
その他	5,488	3,071
営業外収益合計	18,388	16,847
営業外費用		
支払利息	9,401	8,599
設備賃貸費用	9,411	9,611
その他	2,418	2,076
営業外費用合計	21,231	20,288
経常利益又は経常損失(△)	△66,003	5,543
特別利益		
保険解約益	21,672	—
役員退職慰労引当金戻入額	13,421	—
特別利益合計	35,093	—
特別損失		
固定資産除却損	6,714	1,152
リース解約損	11,724	198
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,215	—
特別損失合計	24,653	1,350
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△55,562	4,192
法人税、住民税及び事業税	1,902	1,897
法人税等調整額	8,376	2,112
法人税等合計	10,278	4,010
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△65,841	182

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月18日開催の定時株主総会の決議により、資本準備金を45,233千円取り崩し、その他資本剰余金に振替いたしました。また、その他資本剰余金45,233千円で繰越利益剰余金の欠損填補を行いました。この結果、資本剰余金が45,233千円減少し、利益剰余金が45,233千円増加いたしました。